

## 発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成18年 第2回 定例会 代表質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 小林やすお 議員 (自民)	1 次世代育成支援関連について  2 認知症高齢者グループホームなど的高齢者施設の整備について  3 清掃リサイクル事業について  4 新庁舎総合窓口関連について	(1) 次世代育成手当の区民周知方法及び区民理解度並びに手当支給スケジュールについて問う。 (2) 推進プログラムで示されている子育て施設の整備状況について問う。  (1) 麹町地区に認知症高齢者グループホームなど的高齢者施設を確保すべきと考えるが、施設確保の見込み及び具体的な計画について問う。  (1) 廃プラスチックのサーマルリサイクルに関連して、廃プラスチックの排出抑制及び再利用等について問う。 (2) 廃プラスチックのサーマルリサイクルに反対の陳情が、大気汚染など環境に与える影響を懸念して出されているが、その対策等について区の対応を問う。  (1) 総合窓口の職員も含めた全職員の資質向上に向けた区の取り組み状況について、区長の見解を問う。 (2) 区が目指す「総合窓口」と他の自治体の総合窓口の違いは何か問う。 (3) 総合窓口における職員体制の整備について問う。 (4) 総合窓口を支援し、区民サービスを一層向上させていくための組織整備について問う。	区長及び関係理事者
2 鈴木議員 (共産)	1. 国の医療制度改革問題について  2. 教育基本法について  3. 民間開放に関する指針について	高齢者の医療問題は、最悪の状況に陥っている。区長は、千代田区民の「共生社会」の実現を区政目標にしているが、特に高齢者の暮らしと医療問題について、いま自治体になにが問われているのか、区長に質問する。  政府は、教育基本法を全面的に改定する理由として、「時代の要請にこたえる」ためとしているが、現在の教育基本法のどこが「時代の要請」にこたえられなくなっているのか、一つの実事も根拠もあげられていない。千代田区の教育の歴史を振り返り、現教育基本法について区長と教育長の見解を問う。  「小泉改革の総決算」と位置づけられる行革推進一括法は、「その基本理念」等において、行政が行っている事業の要否などを「仕分け」と明記している。これをテコとして、「官製市場の民間開放」を重点課題として本格化している。横浜市の公立保育園の民営化が違法という司法判断がしめされた。区長の民間開放に関する見解と区の「民間開放に関する指針(案)」について質問する。	区長、教育長ならびに関係理事者
3 山田議員 (公明)	区長の所信表明に関連して 千代田区の地域特性と「共生」の理念にもとづく地域社会構築の課題	区の役割と職員の意識改革 新たな人々の参加と施策の展開について	区長ならびに関係理事者